



自治体向け衣類回収ガイドライン（仮称）の 策定に向けた調査方針について

2026年7月
環境再生・資源循環局 資源循環課



今後のスケジュール

- ・第1回検討会でいただいたご意見を踏まえて、ヒアリング調査を実施し、ガイドラインの素案の作成を進める予定。

時期		検討項目案	
令和8年 (2026年)	7月21日 (本日)	第1回 検討会	・ 本検討会の位置付けについて ・ 「自治体向け 使用済衣類回収ガイドライン（仮称）」骨子案について ・ ガイドラインの作成に向けた調査の実施方針
	8～11月頃	ヒアリング 調査	・ 自治体5件、事業者（故繊維事業者等）5件のヒアリングを実施予定 ※可能な限り、現地でのヒアリングを実施し、同一地域内の自治体と故繊維事業者等の両者にヒアリングを実施することも想定する。
	12月頃	第2回 検討会	・ 自治体・故繊維事業者ヒアリングの調査結果について ・ 「自治体向け 使用済衣類回収ガイドライン（仮称）」（素案）について
	12～1月頃	意見聴取	・ ガイドライン素案について、複数の自治体より意見を聴取（文書ベースを想定）
令和9年 (2027年)	2月頃	第3回 検討会	・ 「自治体向け 使用済衣類回収ガイドライン（仮称）」（案）について ・ ガイドラインの普及方策について

※検討項目案は現時点の想定であり、内容の変更・組み換え等の可能性がある。

ヒアリング調査の方針 1/2

- ・ガイドラインは過年度のヒアリング等調査結果も参考に、具体的な事例を収集、参考情報・コラム等の形で適宜掲載していくことを想定する。
- ・今年度のヒアリングは、過年度の調査事例が不足している等、特に深掘りが必要と考えられる事項を中心に調査を行う。

章立て（案）ごとの深掘りの方向性、優先度

章立て案（案）		調査による深掘りの方向性（案）	優先度
1. 本ガイドラインについて	1.1 はじめに	ヒアリングによる情報収集は想定しない。	—
	1.2 各主体に期待される役割		
	1.3 使用済衣類回収に取り組むことで期待される効果	ガイドラインの読者への動機付けの情報として重要となる。	高
	1.4 自治体における回収量の目安	ヒアリングによる情報収集は想定しない。	—
	1.5 本ガイドラインの整理範囲		
2. 自治体における回収方法について	2.1 自治体による回収方法の種類・特徴	過年度も調査を実施。事例やポイントを適宜拡充する。	中
	2.2 自治体と民間事業者が連携した回収方法の種類・特徴	過年度の調査事例が不足しており、事例を要調査。	高
	2.3 回収対象・対象外品目の設定の考え方	過年度も調査を実施。事例やポイントを適宜拡充する。	低
	2.4 衣類の専ら物としての取扱いの考え方	過年度も調査を実施。事例やポイントを適宜拡充する。	中
3. 持続可能で効果的な回収とするための手順・工夫		本ガイドラインのポイントであり、ヒアリングにより要深掘り。	高

優先度「高」である項目を踏まえて、以下のような観点でヒアリング先自治体（及び事業者）を選定する。

- ✓ **【選定の観点①】** 民間事業者と連携した回収に取り組む自治体（主に、2.2項の参考として）
- ✓ **【選定の観点②】** 直近で衣類回収を開始した自治体（主に、3章の参考として）
- ✓ **【選定の観点③】** その他、特徴的な取組を進める自治体（例えば回収方法を変更した 等）

ヒアリング調査の方針 2/2

- ・ヒアリング候補となる自治体は、一般廃棄物処理実態調査の回答結果や自治体のホームページ等を踏まえて調査を行い、選定することを予定。
- ・各自治体の回収において連携する事業者（故繊維事業者等）に対してヒアリングを実施することも想定する。
- ・ヒアリング候補の「選定の観点」「ヒアリング項目」「具体的なヒアリング候補」等について、ご意見をいただきたい。

ヒアリング対象自治体、ヒアリング項目のイメージ

選定の観点①：民間事業者と連携した回収に取り組む自治体

<自治体のイメージ>

- ✓ リユースに関する連携協定を締結し、公共施設等に回収ボックスを設置し、衣類回収を実施
- ✓ 事業者と連携して地域内での衣類の資源循環に関するモデル事業を実施 / 等

<ヒアリング項目のイメージ>

- ✓ 専ら物としての取扱いに関する協議等、廃棄物処理法に則った回収システム構築の考え方
- ✓ 地域の故繊維事業者や収集運搬事業者等と連携した回収オペレーションの検討 / 等

選定の観点②：直近で衣類回収を開始している自治体

<自治体のイメージ>

- ✓ 庁舎等の公共施設での拠点回収を開始
- ✓ 不定期での衣類のイベント回収を開始 / 等

<ヒアリング項目のイメージ>

- ✓ 回収方法のスキームの設計・協議の方法
- ✓ 関係者との協議・契約等の進め方 / 等

選定の観点③：その他特徴的な取組を進める自治体

<自治体のイメージ>

- ✓ 組成調査により、可燃ごみ中の再資源化可能な繊維類の量を把握したうえで、衣類回収の取組を実施
- ✓ 処理施設更新に伴い、分別区分や衣類の回収頻度を変更している
- ✓ 県内の複数市町村が連携し、広域で古紙との共同回収を実施 / 等

<ヒアリング項目のイメージ>

- ✓ 当該自治体における衣類回収の取組の詳細（取組の背景実施の手順、取組の成果 等）
- ✓ 回収量の増加に向けた取組・工夫点
- ✓ 広域での回収の実施に至った経緯や調整の進め方、実施のメリット / 等

<ヒアリング項目（共通）>

- ✓ 取組による効果、生活者への情報発信、回収量を増やすために実施しうる取組 / 等